

令和元年度第5回幕別町創生総合戦略審議会議事録

1 開催日時

令和2年2月21日（金）18:30～19:00

2 開催場所

幕別町役場3階会議室A・B

3 出席委員（11名）

中田委員、藤原委員、加藤茂樹委員、岩谷委員、宮田委員、高道委員、飯塚委員、
仙北谷委員、堀委員、堀川委員、森田委員

※森委員、佐々木委員、大槻委員、山本委員、喜多委員、鳥井委員、細谷地委員、
加藤リエ委員、大山委員は欠席

4 審議

（1）パブリックコメント実施結果報告について

（2）「第2期幕別町まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び「幕別町人口ビジョン」について

5 事務局出席者

幕別町企画総務部長	山岸 伸雄
企画総務部参事	川瀬 康彦
〃 政策推進課長	谷口 英将
〃 政策推進課副主幹	中田 周呼
〃 政策推進課副主幹	佐々木 哲也

6 傍聴者

2名

7 議事録

(企画総務部参事)

定刻となりましたので、令和元年度第5回幕別町創生総合戦略審議会を開会いたします。
開会に先立ちまして、幕別地区連合会の房川委員に代わり、新たに、飯塚委員が就任されましたので、飯塚委員から一言ご挨拶をいただきたいと思っております。

(飯塚委員挨拶)

(企画総務部参事)

飯塚委員ありがとうございました。
議事に入る前に、事前にお配りした資料を確認させていただきます。
資料1から資料3まで用意していますが、資料が無い方はいらっしゃいますでしょうか。
よろしいでしょうか。
なお、本日、森委員、佐々木委員、大槻委員、山本委員、喜多委員、鳥井委員、細谷地委員、加藤リエ委員、大山委員から欠席の連絡がありましたので、ご報告いたします。
それでは、ここからは藤原会長から、議事の進行をお願いいたします。

(藤原会長)

皆さんこんばんは。
ようやく雪が降りましてようやく十勝らしい季節になったと感じております。
そうは言いながらも、春ももう少しでやって来ますし、明日からは低気圧の影響で天候も荒れるということです。
本日は8名欠席ということですが、新型コロナウイルスの影響がこのようなところにまで及ぶのかと実感しております。
本日は審議会の最終日として町長への答申を予定しておりましたが、もう少し委員の皆さんにご審議いただきたいと考えておりますので、忌憚のないご意見をよろしくお願ひします。
それでは議事に入ります。
議案第1号、パブリックコメント実施結果報告について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

昨年末12月27日に開催した第4回創生総合戦略審議会におきましては、委員の皆様からは総合戦略、人口ビジョンの内容を変更するようなご意見はございませんでした。
年が明けて1月から約1か月間、総合戦略と人口ビジョンに対するパブリックコメントを行いました。その結果、提出件数が1件、意見の件数が延べ9件ありましたことから、意見に対する町の考え方についてご説明します。
資料1をご覧ください。
こちらはパブリックコメントの実施結果をまとめたものでございます。
実施期間は1月10日から2月10日まで行いました。
資料の配布場所は、幕別町役場、忠類総合支所、糠内出張所、札内コミュニティプラザの4か所のほか、ホームページでも閲覧できるようにしました。

提出方法は、郵送、ファックス、電子メールのほか、資料の配布場所に回収ボックスを設置し、ご意見をその場で投函できるようにしました。

提出件数は1件でしたが、意見が複数記載されていたことから、内容を整理し、延べ9件として整理しました。

なお、あらかじめ申し添えますが、事務局としましては、提出された意見によって総合戦略及び人口ビジョンの修正は不要と整理していること、また、提出された意見のうち、個人が特定できる情報や事実が確認できなかった内容などは省略していますので、ご容赦いただきたいと思います。

次のページをご覧ください。

提出された意見と町の考え方について説明します。

まず1番の「地域経済の見直し」として、町から流出しているお金・エネルギー・人口などを見直して、どう町、企業、農業を循環させていくのか考えていただきたいとの意見でした。

町の考え方としては、人口ビジョンで人口の現状を分析し将来展望を示していること、また、町の各計画や施策の実施に当たりましては、実態調査やアンケートを行いながら行政サービスの維持・向上に努めていくと整理しました。

続いて2番目の「SDGs未来都市、モデル事業への参入」についてであります。

このSDGs未来都市、モデル事業というのは、国が実施している事業で、自治体によるSDGsの達成に向けた優れた取り組みを提案する都市を「SDGs未来都市」として選定するとともに、その中から、特に先導的な取組を「自治体SDGsモデル事業」として選定し、これらの取組を支援するものであります。

今年度は「SDGs未来都市」として31都市、その中から10事業が「自治体SDGsモデル事業」として選定されています。

道内では、今年度選定された都市はありませんでしたが、これまで、下川町、ニセコ町、札幌市、道が選定されているところです。

町としましては、総合戦略にも記載しているとおり、SDGsに掲げる目標の達成を念頭に置いた取組を着実に推進すること、また、持続可能なまちづくりのツールとして有効に活用していくと整理しました。

次のページをご覧ください。

3番目の「官民連携事業の推進」についてであります。

1段落目に「行政が作る施設は、誰もが使える公共性・利便性があるにもかかわらず、稼働率や集客数は低い」ということ、また、集客機能が高く収益を担保とした事業計画ができる民間主導の連携事業は難しいのかということ、さらに、最後の段落に町の総合戦略が無駄使いなく、しっかりとした調査のもの、実利の伴うものになるようにしていただきたいというのが意見の趣旨となっています。

町としましては、指定管理者制度の導入など民間活力による施設の整備や運営・管理を実施していること、またPPPやPFIなど官民連携による手法の導入なども選択肢の一つとして考えていること、さらには、総合戦略においても、公共施設等の適切な維持管理として、民間需要がある公用地や公共施設など公的資産の有効活用を掲げていると整理しました。

次のページをご覧ください。

4番目の「世界農業遺産への登録」についてであります。

この世界農業遺産とは、世界的に重要かつ伝統的な農林水産業を営む地域を国際連合食糧農業機関が認定する制度で、昨年11月現在で、日本では11地域、世界では21カ国58地域が認定されておりあります。

世界農業遺産に申請をする地域は、地域の伝統的な地域システムや農業生物多様性など5つの基準とシステムの持続性のための保全計画に基づき評価されますが、道内では認定された地域はありません。

町としましては、十勝農業はまだ歴史が浅いことから、認定基準を満たすことは難しいですが、将来的には世界農業遺産などに認定されるよう農業・農村づくりを積極的に進めていくことが重要と整理しました。

次に5番目の「住みやすい、住みたい町への取組」についてであります。

1段目の中ほどに、「なぜここ数年の幕別町の人口流入が起こっているのかを調査する必要があるのでは」という意見がありましたので、この箇所を提案の趣旨と捉え、提案いただいた事項も含めて1番目の意見に対する町の考えと同じである旨、整理しました。

次のページをご覧ください。

「教育・スポーツの充実」として4件意見をいただきました。

1件目は、6番目の1段落目に「放課後学童以外の場所づくりを推進いただけるとありがたい」という意見がありましたので、この箇所を提案の趣旨と捉え、町教育委員会が行っている「学び隊」の取り組みや民間で行われております「子ども食堂」の事例を示すとともに、現在、策定中の「第2期子ども・子育て支援事業計画」（素案）の中で、児童の健全育成に対する町の推進方針を引用し、町の考え方として整理しました。

2件目は、7番目の2段目に「町や町教委、高校と連携し、小さい頃からこどもが町に対して愛情や魅力を感じたりする取組がとても大切だと思います」という意見がありましたので、この箇所に注目し、現在、町教育委員会では小中一貫教育を進めていること、また、幕別清陵高校が主体となって地域との交流事業に取り組んでいること、さらには、めざす姿を「ふるさとに誇りをもつ子供を育む幕別の一貫教育」として、町としては、将来的には高校までを視野に入れた一貫教育について検討していくと整理しました。

次のページをご覧ください。

8番目として、「町と連携した総合型地域スポーツクラブの事業拡大と子どものスポーツ環境を支える町作り」についてご意見をいただきました。具体的には、2段目の最初に「町と地域のNPO法人、教育機関が連携して幼児から高校生、そして成人まで包括的にスポーツ環境を供給することができるシステム作りを考えて欲しい」との意見がありましたことから、町としましては、引き続き、総合型地域スポーツクラブや教育機関と連携しながら、町民がスポーツを通して健康で豊かな生活が送られるよう各種事業を推進すると整理しました。

次のページをご覧ください。

最後に9番目として「スポーツ競技の特化」についてご意見をいただきました。1段目に選手の専門分野で展開することが有効との意見がありましたことから、町の取組として、子どもの頃から様々なスポーツに触れるようなプログラムを提供していること、また、特定の分野で活躍する選手には費用を助成するなど町の取組を説明しながら、提案のあった選手の育成のあり方については参考にと整理しました。

説明は以上です。

(藤原会長)

事務局からの説明が終わりました。
皆様から何かご質問やご意見等ございませんか。

(意見等なし)

(藤原会長)

それでは、議案第1号につきましては、これで終了とさせていただきます。
続きまして、議案第2号、「第2期幕別町まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び「幕別町人口ビジョン」について、議題といたします。
事務局から説明をお願いいたします。

(事務局)

資料2及び資料3をご覧ください。
先程申し上げましたとおり、前回の審議会開催後、この総合戦略及び人口ビジョンに対して修正が必要な意見等がなかったことから、総合戦略及び人口ビジョンとも町の取り組みに関する内容は、前回の審議会の際にご説明した内容と同じものとなっています。
強いて言いますと、昨年12月20日に国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定されたことから、その内容に沿いまして、資料2の1ページに記載している国の総合戦略の概要を修正しておりますが、その他は修正していないことから、新たに説明を要さない旨、ご了承いただきたいと思います。
説明は以上です。

(藤原会長)

事務局からの説明が終わりました。
皆様から何かご質問やご意見等ございませんか。

(意見等なし)

(藤原会長)

「第2期幕別町まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び「幕別町人口ビジョン」につきましては、これを持ちまして、審議会での最終案として決定することによろしいでしょうか。

(異議なし)

(藤原会長)

ありがとうございました。

なお、この総合戦略策定に対する町長への答申の対応についてでございますが、本日承認いただきました最終案と、これまでの審議会におきまして委員の皆様からいただきましたご意見

等を踏まえまして、後日、私から町長へ答申したいと考えております。

なお、今、事務局から答申書の案を事務局からお配りしましたが、「令和元年10月8日付けで当審議会に諮問された次期幕別町創生総合戦略の策定について、慎重に審議した結果、別添のとおりまとめましたので、ここに答申します。」という内容であります。

日程は3月上旬を予定しておりますが、このような対応とすることによろしいでしょうか。

(異議なし)

(藤原会長)

ありがとうございます。

それでは、私から町長に答申をさせていただきます。

本日の案件は全て終了いたしました。

最後に、事務局から連絡事項がありましたらお願いします。

(事務局)

今後のスケジュールについて説明します。

今年度の審議会は本日の会議を終了となります。次の開催は来年度に入り7月頃を予定しております。議案としましては、現行の総合戦略のKPIの達成状況など総括的な評価を審議いただく予定です。

なお、先程藤原会長からご説明ありましたが、答申は3月上旬を予定しておりますが、成案となりましたら委員の皆様へ送付させていただきます。

説明は以上です。

(藤原会長)

ありがとうございました。

委員の皆様におかれましては長期間に渡りご審議いただき、答申の運びになったこと本当にありがとうございました。

それでは、本日の審議会は終了いたします。